

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題6

【大きな公共を担う活力ある地域社会づくり】

	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞
	多様な主体の協働により全ての地域において課題が共有され、解決に向けて取り組まれている状態
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	【天王寺区における住宅の建て方】(平成25年 住宅・土地統計調査) 集合住宅の割合 平成15年：76.1%⇒平成25年：85.3%
	【天王寺区における単身世帯率】(平成27年 国勢調査) 平成7年：39.4%⇒平成27年：48.4%
	【天王寺区における高齢単身世帯率】(平成27年 国勢調査) 平成7年：7.5%⇒平成27年：10.8%
計 画	【平成28年度区民モニター】※＜ ＞は27年度区民モニター ・住んでいる地域で日頃から「声かけ」、「見守り」、「助け合い」などが行われていると感じる区民の割合 46.3%＜59.7%＞ ・おおむね小学校区を範囲として、地域団体やNPO、企業など地域のまちづくりに関するいろいろな団体が集まり、地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みである「地域活動協議会」を形成しているが、その「地域活動協議会」を知っている区民の割合 41.2%＜50.4%＞ ・住んでいる地域の地域活動協議会が、地域課題の解決やまちづくりに自発的に取り組んでいると感じる区民の割合(地域活動協議会を知っている人に限定) 81.3%＜84.9%＞ ・小学校区を越えた範囲で、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業などいろんな方々の連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合 19.9%＜25.4%＞ ・地域公共人材が活躍していると感じる区民の割合(地域活動に参加している人に限定) 6.4%＜21.9%＞
	【平成28年度地域団体へのアンケート】※＜ ＞は27年度地域団体へのアンケート ・「中間支援組織」から団体の課題やニーズを的確に把握してもらい、それにあつた支援を受けることができていると感じる地域活動協議会に参画している団体(構成団体)の割合 80.9%＜92.3%＞
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞ 地域活動協議会を知っている区民(モニター)のうち、8割を超える区民(モニター)が、多様な活動主体により構成された地域活動協議会において、地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいると感じており、めざす将来像に近づいているが、その地域活動協議会を知っている区民(モニター)の割合は全体の4割となっているため、地域活動協議会に関する情報発信が十分でないと考えられる。
	課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞ 豊かなコミュニティを築き、より多くの地域住民が地域に関心を持ち、地域課題の解決に向けて協働して活動し、活力ある地域社会をめざす地域住民の取組への積極的な支援と情報発信の更なる強化。

	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括
自 己 評 価	・活力ある地域社会づくりに向け、区広報紙やホームページ、市広報板を活用した地域活動とその担い手及び地域団体の紹介や活動の持続的な実施に向けた社会的ビジネスの創出への支援、また、中間支援組織を活用した地域への各種支援により、地域住民の地域への関心を高めることや地域の自律的な運営及び情報発信などについても、より細やかにできたと認識している。
	・しかしながら、地域活動協議会に対する認知度は、低い状況にあり、地域活動に参加されている方と参加されていない方との、地域活動への関心度に大きな差があると思われ、解り易く、目に入り易い形での広報の工夫が必要であるとする。また、地域活動協議会の活動への理解が進むよう、開かれた組織運営と会計の透明化がより浸透するよう、運営委員会などの各種機会をとらえて周知説明に取り組むとともに、地域ニーズを踏まえた支援を引き続き行っていく必要がある。

めざす成果及び戦略 6-1 【豊かなコミュニティの実現】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> 身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感できる状態	戦略<中期的な取組の方向性> 身近な地域における「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」の大切さを伝えるとともに、人と人とのつながりづくりを促進する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 平成29年度 30%	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	—	
	身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 41.2%	46.3%	A	A	今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	b	a:順調 b:順調でない			—

具体的取組6-1-1 【人と人とのつながりづくりの促進】

		27決算額	—	円	28予算額	—	円	29予算額	—	円
計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム) 地域活動時に実施するアンケートで、ふれあいまつりなどの地域のイベントが地域コミュニティづくりにつながると感じた人の割合 90%以上 【撤退基準】 60%未満の場合には事業を再構築する。								
	区広報紙やホームページ等の媒体を活用し、地域における見守り活動等の取組の紹介を通して、身近な地域でのつながりの大切さを伝える。 区広報紙 随時 ・区の財政的支援を受けて行われるイベント・活動において、参加者や運営スタッフのつながりの大切さを伝えるとともに、その効果(地域住民同士のつながりの拡大)を測るためのアンケート調査等を実施する。 アンケート実施 9地域	前年度までの実績 平成28年度 ・区広報紙による情報発信 ・アンケート実施 9地域 ※達成状況 89.5% 平成27年度 ・区広報紙による情報発信 ・アンケート実施 9地域 ※達成状況 90.6% 平成26年度 ・区広報紙による情報発信 ・アンケート実施 9地域 ※達成状況 84.3%								

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			—
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題			※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	区広報紙での紹介 12回 アンケート実施 9地域	この間の広報の結果、地域活動の参加者は、地域イベントがつながりづくりに役立っていることや、地域での様々な活動が行なわれていることを認知されていると思われるが、参加されていない方には、まだまだ関心が薄いことやその情報がうまく届いていないと考えられるため、目に入りやすい形での広報の充実が必要。			
	業績目標の達成状況 地域活動時に実施するアンケートで、ふれあいまつりなどの地域のイベントが地域コミュニティづくりにつながると感じた人の割合 86.6%	② (i)	改善策		
①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		より身近な場所で、つながりづくりの大切さを解り易く目に入り易い形で届けられるよう、中間支援組織を活用するなどして、区広報紙での紹介や、地域、事業単位の地域活動の掲示板への広報の充実支援を行う。			
戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)			

めざす成果及び戦略 6-2 【多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現】

計画	めざす状態<概ね3~5年を念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	<ul style="list-style-type: none"> 校区等地域において、様々な活動主体が協働し、自ら地域課題の解決に取り組む、その情報発信に努めるなど、地域が自律的に運営されている状態 校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会など様々な活動主体の連携・協働により進められている状態 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動協議会に対し、民主的で開かれた組織運営や会計の透明性の確保がなされるよう支援するとともに、地域活動協議会の情報発信力の向上を支援する。 地域活動協議会をはじめ、さまざまな活動主体が地域課題等を情報共有し、連携・協働に向けて話し合うことができる場を提供するとともに、さまざまな活動主体の取組を紹介する。 天王寺区サポーター制度(テンサポ)を活用しながら、区内に活動する団体や企業、事業所等の新たな地域資源を発掘し、さらなる連携・協働に取り組む。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	
	<ul style="list-style-type: none"> 各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合 平成29年度 40% 地域活動協議会を知っている区民の割合 平成29年度 30% 	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題	※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況		前年度 個別 全体		
	各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合 43.3%		— A		—
	地域活動協議会を知っている区民の割合 16.2%		— B		—
			A: 順調 B: 順調でない	今後の対応方向	※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a	a: 順調 b: 順調でない		—

具体的取組 6-2-1 【地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援】

		27決算額	15,792千円	28予算額	16,599千円	29予算額	16,252千円
計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)					
	<ul style="list-style-type: none"> 区ホームページに、地域活動協議会に交付する公金の使途を掲載する。 公金の使途公表 1回 地域活動協議会において、より一層民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されるよう、中間支援組織を活用した啓発・支援を行う。 会計説明会 1回 地域活動協議会が独自で行う情報発信の取組を、中間支援組織を活用して支援する。 情報発信支援 9地域 	中間支援組織の支援によって、情報発信力が向上したと感じる地域活動協議会の割合 85%以上 【撤退基準】 40%未満の場合には事業を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度 ・公金の使途公表 2回(区HP1回、区広報紙1回) ・会計説明会 1回 ・情報発信支援 9地域 ※達成状況 77.8% 平成27年度 ・公金の使途公表 1回 ・会計説明会 1回 ・情報発信支援 8地域 ※達成状況 75.0% 平成26年度 ・公金の使途公表 2回 ・会計説明会 2回 ・情報発信支援 8地域 ※達成状況 39.2%					

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	—	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題			※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	<ul style="list-style-type: none"> 公金の使途公表 2回(区HP1回、区広報紙1回) 会計説明会 1回 情報発信支援 9地域 					
	業績目標の達成状況	改善策				※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	中間支援組織の支援によって、情報発信力が向上したと感じる地域活動協議会の割合 100% ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	① (i)				
	戦略に対する取組の有効性	○	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組6-2-2

【校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援】

27決算額 ー 円 28予算額 ー 円 29予算額 ー 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動を区ホームページなどで紹介する。 ・区ホームページに、活動主体の情報や検索するサイトを掲載する。 情報や検索サイトの掲載 随時	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動の紹介 3件 【撤退基準】 1件以下の場合は事業を再構築する
		前年度までの実績
		平成28年度 活動の紹介 3件 平成27年度 活動の紹介 3件 平成25・26年度 区ホームページに区内のNPO法人を検索するページを掲載

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	ー	
		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動を区ホームページや印刷物により紹介 ・区ホームページに、活動主体の情報や検索するサイトを掲載		
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動の紹介 4件	① (i)	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○	
		○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 6-3 【地域資源の循環】

計画	めざす状態<概ね3～5年を念頭に設定> ・容易に地域資源情報を得ることができる仕組みがあり、様々な活動主体に活用されている状態 ・地域や社会の課題の解決やニーズへの対応に向けた取組がビジネス手法により継続的に展開されている状態 ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットが理解され、本市の事務事業が社会的ビジネス化している状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・地域資源に関する情報が容易に得られる仕組みを構築し、活用を促進する。 ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを伝えるとともに、地域におけるビジネス化の取組を支援する。 ・区で実施している事業で、既に社会的ビジネス化に取り組んでいる事業が、継続して展開できるようする。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。 ・地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数 平成29年度までに 1件以上 ・社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数 平成29年度までに 1件以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	—	
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体		
	平成27年度中に立ち上げた地域資源に関する情報が得られる仕組みを活用(区ホームページに情報が得られるサイトを随時更新)	—	A	A	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	—
	コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネスが創出された件数 0件(事業実施の公募を行った件数 1件)	0件	B			
社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数 5件	5件	A				
戦略の進捗状況	a	a:順調 b:順調でない	A:順調 B:順調でない			

具体的取組6-3-1 【地域資源が活用されやすい仕組みづくり】

計画	取組内容	27決算額	—	円	28予算額	—	円	29予算額	—	円
	・平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げたことから、地域や社会に存在する資源(人材、モノ、資金、地域情報など)に関する情報について必要に応じてホームページ上の情報更新を行なう。 ・ホームページ上で地域資源を紹介していることを、区広報紙に掲載する。1回以上	業績目標(中間アウトカム) 必要に応じて、随時、情報の更新を行う。 【撤退基準】 —								
	前年度までの実績	平成28年度 ・地域や社会に存在する資源に関する情報が得られる仕組みを構築し、ホームページで紹介 ・区広報紙での紹介 1回								

中高振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	—
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	地域や社会に存在する資源に関する情報についてホームページ上の情報を更新(随時) ホームページ上で地域資源を紹介していることを、区広報紙に掲載 1回	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	—
	業績目標の達成状況	取組実績どおり	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	—
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	① (i)		
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組6-3-2

【地域資源の循環による継続的な地域活動の促進】

27決算額 ー 円 28予算額 ー 円 29予算額 ー 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	地域活動協議会に対し、中間支援組織を活用し、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスへの関心を高めるため、それらの意義やメリット、地域イベントでの自主財源確保の事例等に関する情報提供の場を設ける。 情報提供会 1回	情報提供の場に参加した地域のうち、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを理解したと感じた地域の割合 65%以上 【撤退基準】 40%未満の場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績
		平成28年度 情報交換会1回 ※達成状況 88.9%
		平成27年度 情報交換会1回 ※達成状況 62.5%
		平成26年度 情報交換会3回 ※達成状況 67.9%

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	コミュニティ回収説明会 全体1回 地域単位4回 情報交換会 1回	
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	情報提供の場に参加した地域のうち、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリットを理解したと感じた地域の割合 88.9%	① (i)
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組6-3-3

【本市事務事業の社会的ビジネス化の推進】

27決算額 ー 円 28予算額 ー 円 29予算額 ー 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	・既に社会的ビジネス化を行っている事務事業が継続して展開できるよう、受託者の提案や相談を受け入れ検討する。 随時 ・区広報紙やホームページ等の媒体を活用し、天王寺区での社会的ビジネス化の具体例を紹介する。 具体例のホームページ掲載 随時	継続実施 5件 【撤退基準】 2件以下の場合には事業内容を再構築する。
		前年度までの実績
		平成27年度 寺田町公園清掃にかかる業務の社会的ビジネス化
		平成26年度 上汐公園清掃、東高津公園清掃にかかる業務の社会的ビジネス化
		平成25年度 五条公園清掃、寺田町駅前駐輪啓発にかかる業務の社会的ビジネス化

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	・社会的ビジネス化を行っている事務事業を、検証のうえ継続して実施 5件 ・天王寺区での社会的ビジネス化の具体例をホームページで紹介	
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	取組実績どおり	① (i)
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 6-4 【地域公共人材の充実と中間支援機能の活用】

計画	めざす状態<概ね3~5年間で念頭に設定> ・地域の活動において、地域公共人材や中間支援組織が活躍している状態 ・多様な活動主体の課題やニーズに応じた支援が中間支援組織の活用により行われている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・さまざまな活動主体の調整や話し合いを促す人材を発掘するとともに、活用の機会を構築する。 ・地域活動協議会の自律的な地域運営の推進にむけ、さまざまな支援を中間支援組織を活用して実施する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・派遣型の地域公共人材が活用された件数 平成29年度 1件 ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合 平成29年度 75%	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況		前年度	個別	全体	—
	派遣型の地域公共人材が活用された件数	0件	1件	B	A	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合	89%	—	A		
戦略の進捗状況	b	a:順調 b:順調でない			—	

具体的取組6-4-1 【地域公共人材の充実と活用の促進】

		27決算額	—	円	28予算額	—	円	29予算額	—	円
計画	取組内容	・区ホームページに、地域公共人材に関する情報や検索するサイトを掲載するとともに、中間支援組織を活用し、地域活動協議会に対して地域公共人材の役割等を紹介する。 随時				業績目標（中間アウトカム） 新たな活動の企画検討の場等で地域公共人材を活用した地域活動協議会1協議会以上 【撤退基準】 地域公共人材を活用した地域活動協議会が無い場合は事業を再構築する。				
						前年度までの実績 平成28年度 地域公共人材を活用した地域活動協議会 8地域参加の全体交流会の場で地域公共人材を活用				

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須							
	戦略に対する取組の有効性	—	—							

自己評価	取組実績	・区ホームページに、地域公共人材に関する情報や検索するサイトを掲載、地域活動協議会に対して地域公共人材の役割等を紹介				課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 地域公共人材の活用に向けその紹介を行った情報交換会でのアンケート結果では、地域公共人材活用可能な意向は6割近くあるものの、地域から活用したいとの積極的な意思表示はなく、地域の意向に沿った提案が必要。				
	業績目標の達成状況	地域公共人材を活用した地域活動協議会 0協議会(地域公共人材紹介の場での活用の可能性を感じた人の割合 59%)				③ 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 地域から活用可能な意向のある内容を掘り下げ、その内容に沿った地域公共人材を中間支援組織から地域に提案を行い、活用を図っていく。				
	戦略に対する取組の有効性	×	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)							

具体的取組6-4-2

【中間支援組織の活用】

27決算額 13,932千円 28予算額 13,869千円 29予算額 13,579千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	中間支援組織が、各地域活動協議会の状況を把握し、また要望等をふまえながら、自律に向けた具体的活動を支援する。 地域活動協議会の具体的活動の支援 9地域	中間支援組織による支援が役立ったと感じる地域活動協議会の割合 85%以上 【撤退基準】 40%未満の場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績
	平成28年度 地域活動協議会運営支援 9地域 ※達成状況 100% 平成27年度 地域活動協議会運営支援 8地域 ※達成状況 87.5% 平成26年度 地域活動協議会運営支援 8地域 ※達成状況 80.8%	

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		—
	戦略に対する取組の有効性	—	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	地域活動協議会の具体的活動の支援 9地域	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
			—
	業績目標の達成状況	中間支援組織による支援が役立ったと感じる地域活動協議会の割合 88.9%	① (i)
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)